

笑顔とがんばりの町 おのまち議会だより

147号
平成28年
8月26日発行



待ちに待った「なつまつり」 (飯豊ひまわり保育園)

主な内容

定例会6月会議の結果	2	議会活動トピックス	14
町政を問う5人が一般質問	5	5月～7月の議会活動日誌	15
行政調査レポート	11	町民の声	16
追跡・あの一般質問を検証	13		

おのまち議会だより

平成28年
8月26日発行
147号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会
〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻
0247-722111

町民の声

町民の方から議会に思うことをお聞きしましたので、ご紹介します。



秋元 里美さん

この度、「町民の声」に私の思いを載せて頂けるという事でどんなことを書いたら良いのか考えてみました。高齢化と若い人の流出に伴う税収国保税の納税額を見て溜め息が出てしまいました。このようなことを考えると不安が募ります。高齢者の病院の送迎は充実していると思いますが、小中学生のスクールバスは一部だけなのではないでしょうか。特に、中学生のスクールバスがあると、子育て世代の親にとっては大変助かることです。そして、これから出産・育児をする若い親達にとって産婦人科が小野町にあれば郡山に通わなくてすむと思います。一人・三人の子供を連れての通院は大変なことです。自分の子供に小野町に帰ることを勧められるような住みやすい魅力のある小野町にして欲しいと願っています。



吉田 仁さん

私は昨年行われた定例会12月会議を傍聴しました。自分が住んでいる小野町が、どう考えているのか、どう行動に移しているのかに興味があったので参加させていただきました。様々な問題や意見を聞くことができた。その中でも、人口減少は深刻な問題だと思います。対策として何か産業の確立をしてみてもどうかと私の勝手ながらに思いました。小野町に住み、小野町で働くということが可能になるのではないかと考えます。どの年齢層の人を小野町に呼び込むかが重要なのではないのでしょうか。ターゲットによって対策を変えていくべきだと思います。今後も「笑顔とがんばりの町」としての町づくり、町民が町政に興味をもち、協力し合える関係を築けるよう期待しています。私自身も積極的に協力していきたいと思っています。

定例会9月会議は9月1日(木)に開会の予定です。
一般質問は9月2日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています！
※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)



今年も暑い夏が来ました。田んぼは、生育した稲で一面が緑のじゅうたんを敷いた風景となっています。秋には、黄金色の稲穂が垂れ下がり、いよいよ収穫時期を迎えます。時が経つのは本当に早いものです。年4回発行しています議会だよりも、今号は今年に入り3回目の発行となりました。これからも、読者目線に心がけて、限られた紙面の中で、できる限り詳細かつ、わかりやすい内容とするよう努めてまいります。まだまだ残暑が続きます。くれぐれもお過ごしください。

議会広報編集委員会委員
佐藤 登

この印刷物は、FSCの基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC C020493

あしがき

定例会6月会議

6月8日～13日

平成28年小野町議会定例会6月会議は、6月8日から13日まで6日間の日程で開かれました。
会議では、平成28年度一般会計補正予算や条例の一部改正など、4件の議案を全て原案のとおり可決したほか、平成27年度一般会計補正予算の専決処分や予算の繰越明許費繰越などの報告がありました。
また、5名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



▲本会議の様子

4,420万3千円追加する補正予算を可決

一般会計歳入歳出それぞれ4,420万3千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額を49億6,720万3千円とするものです。

【主な補正内容】

◆歳入

項目	補正額
緑とのふれあいの森公園使用料	10万円
森林整備加速化・林業再生基金事業県補助金	2,105万円
東日本大震災復興支援基金繰入金(市町村復興支援交付金分)	1,900万円

◆歳出

※1万円未満切り捨て

項目	補正額
コミュニティ助成事業助成金	210万円
子育て支援課事務所キッズルーム等整備費	1,960万円
森林整備加速化・林業再生基金事業補助金	2,105万円

条例の一部改正

次の条例の一部が改正されました。

◆国民健康保険税の税率が改定

小野町国民健康保険条例の一部を改正する条例について平成28年度の国民健康保険税の税率を改定するため、条例の一部を改正するものです。
国保税は、国民健康保険制度を運営するために、その年度に見込まれる総医療費などから、国や県などの負担分を差し引いた残りを各世帯が負担します。
※詳しくは「広報おのまち7月号」をご覧ください。

報告事項

専決処分・予算繰越明許費繰越について、次の6件について町長から報告がありました。

- 平成27年度小野町一般会計補正予算(第7号)の専決処分の報告について
- 小野町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
- 小野町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
- 復興産業集積区域における小野町税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
- 小野町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
- 平成27年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越の報告について

請願・陳情の審査結果

定例会6月会議では次の陳情を審査しました。結果は次のとおりです。

◆国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書の提出を求める陳情書

陳情者：福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志
福島県教職員組合田村支部 支部長代行 吉田 光裕
付託委員会：総務文教常任委員会
審査結果：採択
※陳情の審査は、付託された常任委員会で行います。付託とは、議案の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会に審査を分割して任せることです。

議員提出議案

2件の議員提出議案を可決しました。

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

◆意見書の提出

陳情採択に伴い、意見書を復興大臣等に提出することについて提案したものです。

○「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書
議案提出者：遠藤 英信 議員
意見書提出先：復興大臣、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣

7月第1回会議開催

7月27日に平成28年小野町議会7月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

補正予算 ◆平成28年度小野町一般会計補正予算

小野町プレミアム付商品券発行に係る経費として720万円追加補正するものです。

契約案件 ◆工事請負契約の締結

社会資本整備総合交付金事業で行う百目木・堀切線道路拡幅・舗装工事の請負契約を議会の議決を経て締結するものです。

予定価格が5,000万円以上の工事請負契約を締結する場合、議会の議決が必要となります。

遠藤議員に自治功労者表彰

福島県町村議会議長会自治功労者表彰

このたび、遠藤英信議員が福島県町村議会議長会より自治功労者表彰を受け、6月8日の定例会6月会議において村上議長より表彰状が伝達されました。

この表彰は、町村議会議員として11年以上在職し、地方自治の振興発展に寄与された功績が認められた方に授与されます。

◀村上議長から表彰状を受ける遠藤議員(左)



遠藤 英信 議員 6ページ

- ◆ 小野IC周辺に複合施設の建設について
- ◆ 小野ICを活用したスポーツ施設の充実について
- ◆ 若者定住、宅地100坪無償提供について
- ◆ 学校給食の無料化について
- ◆ 「健康の駅」の整備計画について
- ◆ 食生活の改善、推進、充実について
- ◆ 家族介護支援、応援支給事業について
- ◆ 耕作放棄地、遊休農地の対策と活用について
- ◆ 平地林対策と山桜など自然林の保全、育成活用について

渡邊 直忠 議員 7ページ

- ◆ 複合拠点観光、交流施設整備について
- ◆ 「おのまち食の大宴会」について
- ◆ ミネラル野菜のこれまでの取り組みについて
- ◆ 小野町の地理的、気象条件等環境と共生する農業推進事業について
- ◆ ベレット堆肥施用土づくりによる、安全安心美味しい食物で健康な町宣言について
- ◆ 平成28年度農林水産省予算の活用について
- ◆ 塵芥処理事業の委託業務の内容について
- ◆ 一般廃棄物処理業者について
- ◆ 家庭ごみ収集運搬用車輛購入について
- ◆ 小野ウエストパーク再搬入計画について
- ◆ 平成8年6月に小野町がいわき市に提出した確約書について(小野ウエストパーク搬入関係)

会田 明生 議員 8ページ

- ◆ 防災・災害対策について
- ◆ こまち女性消防隊について
- ◆ 道路等の安全確保について
- ◆ 公共施設等総合管理計画について
- ◆ 町独自事業について

竹川 里志 議員 9ページ

- ◆ 7月の参議院選挙啓発等の取り組みについて
- ◆ 消防団員の確保について
- ◆ 消防団員の負担について
- ◆ 廃校の利活用の取り組みについて

宗像 芳男 議員 10ページ

- ◆ 新たな執行体制における町政方針について
- ◆ 農業振興対策としての生産基盤の整備について
- ◆ 農業後継者対策と振興計画について
- ◆ 役場庁舎の建設について
- ◆ 保健センター、温浴交流複合施設の建設について
- ◆ 認定こども園建設について

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。(8月下旬掲載予定)

町政を問う

5人の議員が一般質問

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示しています。
・村上昭正議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	渡邊直忠	会田明生	竹川里志	宗像芳男	田村弘文	籠田良作	水野正廣	遠藤英信	久野峻	佐藤登	吉田康市		
定例会3月会議	町長	平成27年度小野町一般会計・各特別会計補正予算等 9件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		平成28年度小野町一般会計・各特別会計予算等 9件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町行政不服審査会設置条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町笑顔とがんばり子育て支援基金条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町課設置条例の一部を改正する条例について ほか15件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		西牧門文庫基金条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町過疎地域自立促進計画について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		町有財産賃貸借契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野運動公園多目的運動施設整備工事請負変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町監査委員の選任につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議員	小野町議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			企業対策特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会改革特別委員会の設置について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
公共施設検討特別委員会の設置について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議員	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書 給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第1回会議 3月	町長	小野町副町長の選任につき同意を求めることについて	可決	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○		
定例会6月会議	町長	平成28年度小野町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第1回会議 7月	町長	平成28年度小野町一般会計補正予算(第2号) 社会資本整備総合交付金事業 百目木・堀切線道路拡幅・舗装工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

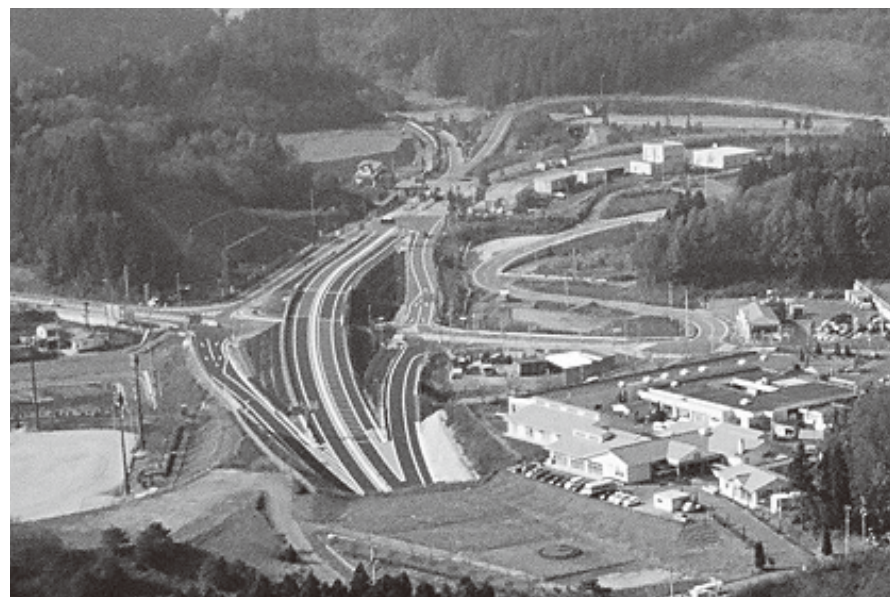
※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。
※紙面の関係上、定例会3月会議における予算関係議案と条例の一部改正議案は、集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

問 複合拠点観光、交流施設整備について

答 小野ICの周辺整備は必要と考える

町長 小野IC周辺は産業の振興や災害時の対応、観光交流の拠点施設を整備するには最適な場所が必要であると考えます。

問 災害時支援施設の整備と、小野町の農業と商業を含めて全産業の活性化のために、直売所、農家レストラン等の観光交流の施設の充実を図ることが大事であると思います。これらを小野町の顔ともいえる小野IC周辺整備開発と運動公園の利活用もあわせて行う必要があると思います。町長の考えを伺います。



小野IC周辺

町長 担保については、株ウイズウエストジャパンが小野町に寄附した3億8,000万円は公害

町長 各種基金積み立ての増額を事業者に求めたいと考えます。



渡邊 直忠 議員

めて積極的に進めていきますが、どのような機能を有する施設を整備するかなどは、周辺状況の調査や住民のニーズを踏まえる必要がありますので、速やかに構想をまとめていきたいと考えます。

再質問 小野IC周辺の整備は必要であるという発言がありました。整備の時期とその手法等、どのような形で行うのか伺います。

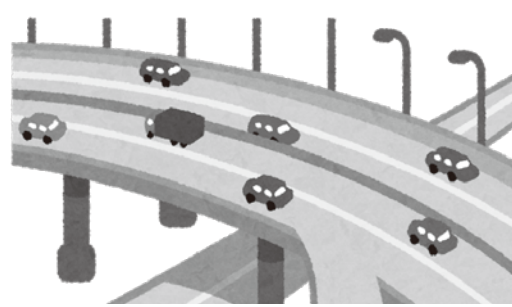
町長 具体的な時期等は申し上げられませんが、順序を踏んで検討を進めていく考えです。

問 小野IC周辺に複合施設の建設について

答 どのように整備するか調査等を実施する

町長 小野ICは、町の入り口、いわば玄関ともいえる場所です。施設の複合化も含め、どのように整備するべきか、必要な調査等も実施し、速やかに構想をまとめていきたいと考えます。

問 磐越自動車道とあぶくま高原道路にかかると小野ICは、今日までも交通の要として、多くの方々が利用されています。小野ICの特性を最大に活かした交流拠点の複合施設の整備をすべからず、町長の考えを伺います。



町長 小野IC周辺の整備にあたっては、特徴を最大限活用し必要な施設を整備することも、ご提案の2つの海を前面に押し出した海産物や小野町の農産物の展示販売なども考えていきたいと思えます。

町長 子育て支援の観点からの給食費の無料化は意識していく必要があると認識しています。近隣市町村とのバランスを考慮し、また、関係機関と連携しながら、地産地消の取り組みを推進し、安全・安心な地元食材等の利用を拡

問 給食に係る費用は、学校給食法によって、食材費は保護者負担、設備や運営費は自治体負担と定められています。しかし、子育て支援策として、人口減少に歯止めをかけ、若年層の定住化を図ることに、財政負担を強いられるからと言って、子育て支援の目的は達成されません。

町長 学校給食無料化についてはどのように考えているのか伺います。

充して、給食費の負担軽減を図っていきたく思います。



学校給食

再質問 太平洋と日本海を本で結ぶ磐越自動車道に小野ICがあることを活かし、太平洋と日本海の特徴ある海産物と小野町の農産物を発売する、福島県唯一の複合施設の構想を練ってはどうか、町長の考えを伺います。

問

学校給食の無料化について

答 給食費の負担軽減を図る

問

平成8年6月に小野町がいわき市に提出した確約書について (小野ウエストパーク搬入関係)

答

様々な状況を勘案して、担保の上乗せも検討

問 平成8年6月20日に小野ウエストパーク搬入開始に伴い、小野町がいわき市に対して提出した確約書を見ますと、株ウイズウエストジャパンと小野町の責任の所在が触れられていますが、確約の期限が設けられていません。

町長 いわき市に対しては、町は責任が継続というふうに考えられます。その場合、町はこれまで株ウイズウエストジャパンに対してどのような担保を取ってきたのか、また仮に契約更新となる場合には、担保の上乗せは必要であると考えますが、町長の考えを伺います。

再質問 さらなる担保の上乗せが必要であると思いますが、町長の考えを伺います。

町長 各種基金積み立ての増額を事業者に求めたいと考えます。

問 7月の参議院選挙啓発等の取り組みについて

答 効果的な啓発に努める

町長 新たな有権者になる人々を含めた若者有権者の政治、選挙への参加意識の向上を図るため、選挙管理委員会と連携し、町独自の選挙啓発用ポスターを作成し小野高校等への掲示を予定しているほか、街頭啓発、高校



街頭で投票の呼びかけ(街頭啓発)

問 7月10日投票の参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き上げられますが、これまで若者の投票率は低いと指摘されています。これからの世代の若い人の投票率を上げるためにも啓発活動が必要ですが、町としてどのように考えているのか伺います。

町長 要望があれば関係者と連携しながら開催していきたいと考えます。

町長 現在までに廃校となった施設は、旧浮金小学校、旧小戸神小学校、旧小野新田小学校、旧小野新田小学校、旧夏井第二小学校、旧羽出庭つくし児童園の5施設です。5施設のうち、旧浮金小学校は、教育財産として、旧雁股田分校は公民館分館として管理しています。また旧羽出庭つくし児童園は、昨年4月から家具工房として貸与しています。なお、残りの2施設の体育館や校庭は地元行政区や地域のスポーツ団体、太鼓の練習などに使われている状況です。

町長 事業計画の整合性、地域に与える影響など、様々な観点から事業を精査した上で可否を判断しなければなりません。判断するには審査や調査などに時間を要する場合がありますので、懇切丁寧な対応をしてまいりたいと考えます。

総務課長 学校を宿泊所とするためにどのような手続が必要なのか、今後可能かどうかを検討し、有効活用を努めたいと考えています。



竹川 里志 議員

再質問 昨年、小学生による子ども議会が開催されましたが、今後も小学生による子ども議会、または中学生、高校生による議会などを検討されるのも良いと思いますが、町長の考えを伺います。

問

廃校の利活用の取り組みについて

答

迅速かつ適切に対応する

再質問 地域の特徴を生かした活動拠点として有効活用が必要であると思います。町にはスポーツ施設があります。泊施設はありますか。

再質問 地域の特色を生かした活動拠点として有効活用が必要であると思います。町にはスポーツ施設があります。泊施設はありますか。

問 道路等の安全確保について

答 関係機関と連携し安全確保に努める



道路沿いに立ち並ぶ街路灯や標識等

問 道路標識、照明灯、信号、観光案内看板、カーブミラー等の施設が倒れ、通行人が負傷する事故が全国各地で発生しています。小野町でも、道路に限らず公共施設の敷地内

町長 危険箇所の早期発見、注意喚起を図るうえで、照明灯や案内標識等の設置管理及び点検状況の情報等について、部局横断的な連携はもちろんです。県、公安委員会などの関係機関等と連携を図ることは大変重要であり、今後、事故の未然防止と道路等における安全確保に努めていきます。

町長 これからも町独自の事業を展開し、多くの人が小野町に魅力を感じていただくよう努めていきます。

町長 町民の皆さんから住んでいてよかったと言っていただけという、また、小野町がより魅力のある町となるよう、引き続き多様な方法で意見を集約し、必要な独自施策に反映させていく考えです。

町長 これからも町独自の事業を展開し、多くの人が小野町に魅力を感じていただくよう努めていきます。

町長 同じ考えであり、小野町からそういうことを発信していきたいよう努めていきたいと思っています。



会田 明生 議員

問 照明施設等によって事故が発生することも想定する必要があります。これらの事故を未然に防止するためには、現場組織内での横断的な取り組みはもちろんです。関係する公共機関等との連携による管理体制の構築が必要と思いますが、町長の考えを伺います。

問

町独自事業について

答

引き続き意見を集約し、独自施策に反映させる

町長 町民の皆さんから住んでいてよかったと言っていただけという、また、小野町がより魅力のある町となるよう、引き続き多様な方法で意見を集約し、必要な独自施策に反映させていく考えです。

町長 これからも町独自の事業を展開し、多くの人が小野町に魅力を感じていただくよう努めていきます。

町長 同じ考えであり、小野町からそういうことを発信していきたいよう努めていきたいと思っています。

小野町議会全体研修レポート



視察調査の様子

小野町議会議員12名は、先進的な議会改革の取り組みを視察調査するため、茨城県大洗町議会を訪問しました。大洗町議会は、平成19年の議員改選を契機に「開かれた議会、信頼される議会」を目指し、様々な議会改革を進めてきました。平成24年度には、その成

先進的な議会改革を視察調査

〔視察先〕茨城県大洗町議会

実施日：6月17日

果が認められ全国町村議会議長会から優良町村議会特別表彰を受けました。

この度の視察調査は、次の事項を主に調査しました。

- ① 政治倫理条例の制定について
- ② 議会報告会について
- ③ 日曜議会の開催について
- ④ 傍聴者増加のための方策及び傍聴者アンケートについて

〔政治倫理条例の制定〕

政治倫理条例は、町民全体の代表者として人格及び倫理の向上に努めるため、平成23年6月に制定し様々な倫理基準を設けました。

〔議会報告会〕

議会報告会は、毎年3月と9月の定例会終了後に、13名の議員が2班に分かれ（議長はフリー）1班が2ヶ所ずつを年2回開催し、予算審査の内容等の報告と意見交換を行っています。

〔日曜議会の開催〕

仕事の関係上、日曜日に議会を開催して欲しいという住民ニーズに応えるため、平成21年から毎年3月定例会に日曜議会を開催しています。なお、平成28年は「土曜議会」として開催しました。

〔傍聴者増加のための方策及び傍聴者アンケート〕

傍聴された方々に議会案内のダイレクトメールを送付するほか、町内の事業所に議会開催（一般質問）の案内ポスターの掲示を依頼するなど、傍聴者増加のための取り組みを積極的に行っています。その結果、最高で年間約400人の方が議会傍聴に訪れました。

また、傍聴者へのアンケートも実施し、今後の議会運営の参考としています。



小野町議会議長 村上昭正

このほか、傍聴者に一般質問の内容を分かりやすくする工夫や町民参加型の議会研修会を企画するなど、様々な議会改革を進めていきました。

大洗町議会への視察調査を終えて、議会改革の基本は議員個々の意識改革と資質向上であると改めて感じました。

今回の視察調査の成果は、今後の議会改革に反映させ、「開かれた議会」を目指していきます。



宗像 芳男 議員

問

農業振興対策としての生産基盤の整備について

答

平成32年度着工に向けて、今年度から調査設計を実施



今年度から測量等が実施される農業農村整備事業地区（浮金地区）

問 農業後継者不足、TPP協定など農業を取り巻く環境は激変する

ことが予想されます。このような状況に鑑みて、農業の生き残りをかけて水田、畑等の生産基盤の大区画化に整備するため、浮金第二地区ほ場整備事業推進組合が設立されました。今後早期着工、完成が望まれますが、町はどのような対応をされるのか伺います。

町長 昨年11月に県より平成28年度農業農村整備事業調査地区として決定通知がありました。

今後は、今年度から来年度にかけて、測量や概算設計、経済効果の算定等を行い、平成30年度に国・県の審査を受け、平成31年度には実施設計、平成32年度から工事に着手する見込みです。

工事は、できるだけ短期間に完了できるように、予算の確保等について関係機関に働きかけていく考えです。また、地権者の皆様の事業費負担額は、担い手への農地の集積率を上げるなどにより軽減されることとなっておりますので、担い手の育成や農地の集積率の向上等を推進し、地権者皆様の負担軽減を図っていく考えです。

問

役場庁舎の建設について

答

各方面からの情報収集に努め適切な時期に整備する

問 役場庁舎は、築55年以上経過し老朽化が著しく、また耐震基準を満たしていません。

災害発生時に対策本部を設置し防災司令塔となるべき庁舎が被災により使用不能となることは絶対にあってはなりません。町民の安全・安心を図り、行政サービスを向上させるためにも、新庁舎建設は急務であると思いますが、町長の考えを伺います。

町長 私も、可能な限り早期の建設は必要であると認識しています。

しかし、役場庁舎の建設に当たっては、建設場所の問題や多額の経費が必要となることなどから、他の施設との複合化、利便性、財源の確保も含めて検討していかなければならぬため、今の考えです。



築55年以上経過した役場庁舎

追跡

どうなった？ あの一般質問を検証！

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

ふるさと応援寄附金の使途の公表について

質問

寄付された方々の思いに応えるためにも「小野小町ふるさと応援寄附金」を、どのような事業に活用されたのか、わかりやすく公表する必要がありますが町長の考えを伺いたい。

答弁

寄付された方々の思いを十分尊重し、充当する事業やその公表方法等について、改めて検討したい。

その後

ふるさと応援寄附金制度は、これまで小野町を応援したいとする多くの方々から寄附をいただいてまいりました。平成27年度からは、町の特産品の紹介や産業振興のため、返礼品をお贈りしているところです。

寄附状況の公表については、寄附の申し込みの際に同意いただいた方のみ、氏名と活用希望を町のウェブサイトで公表していますが、現在そのほかに寄附金の総額やどのような使途で活用したかを平成27年度分より町のウェブサイトで公表を始めています。

今後も寄附された方々の意思を尊重しながら、制度の適正運用に努めていきます。

商圈拡大について

質問

商圈拡大を図るため、プレミアム商品券を継続して販売し、販売量の増加や地元商店利用割合の増、さらには近隣町村からの消費者を増やす必要があると考えますが、町長の考えを伺います。

答弁

プレミアム商品券の継続販売は、昨年（平成27年）販売したプレミアム商品券の検証結果を踏まえ検討していきたい。

その後

昨年販売したプレミアム付商品券は、国が創設した地域住民生活等緊急支援のための交付金「地域消費喚起・生活支援型」を活用し、今までにない規模の商品券発行額となりました。

検証の結果、地域における個人消費の喚起と町内事業所の売上向上に繋がり、消費者及び事業者にとって魅力的なものとなりました。

検証結果を踏まえ、本年度も消費者の生活支援と消費購買力の高揚を図るとともに、町内事業所の売上向上による地域経済の活性化に資することを目的にプレミアム付商品券発行事業を継続して実施いたします。

企業対策特別委員会は、首都圏における企業立地の動向等の調査並びに、小野町への企業誘致の要請のため、福島県東京事務所、日本立地センターを訪問しました。

また、再生可能エネルギーに関する国の施策等の調査を合せて行いました。

以下、概要をお知らせします。

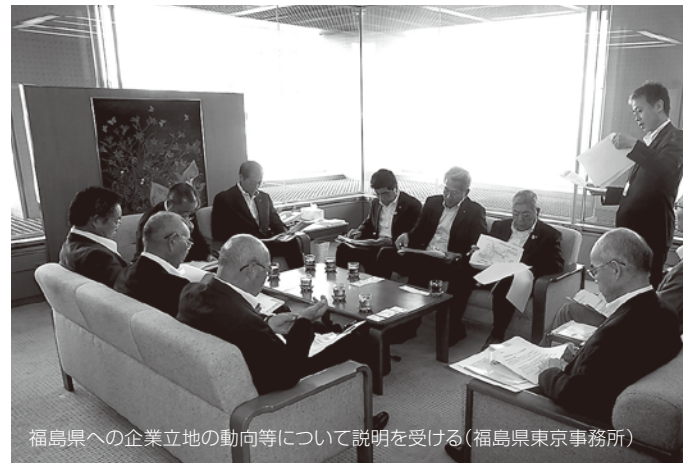
用地取得から短期間での操業を希望する企業も多く、許認可手続きを円滑に進められる体制の構築と、即対応できる用地の確保が必要と、

【人材確保】
企業が求める立地条件の一つには、「人材確保・育成の支援」があります。

立地したものの地元からの心

【企業立地動向】
本県への企業立地は、補助金をはじめ様々な支援施策があるものの、なかなか進まず、平成27年度の新規立地は4件と厳しい状況です。企業誘致とともに、既存企業に対する支援の充実が必要と、

一方、首都圏においては、圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の開通により、茨城県群馬県への立地が多くなっています。特に茨城県への平成27年度の立地件数は78件と、全国一の件数です。圏央道沿線では、工業団地を新たに造成している状況です。



福島県への企業立地の動向等について説明を受ける（福島県東京事務所）

募がなく、雇用確保に苦労した事例もあり、中には、「福島は人が集まらない。」との厳しい声もあるようです。

企業誘致にあたっては、企業と行政が一体となって、必要な人材を確保できる体制づくりが必要です。

【成長が期待される業種】
今後の成長が見込まれる業種としては、物流施設関連や食品関連です。

特に物流業界においては、人口が減少している地域においても、インターネット通販等の利用増加により、運ぶ荷物が増えており物流施設での荷物の仕分けに人が必要な状況です。

【企業立地に向けて】
地域にとって、企業誘致・既存企業の成長は、大変重要なことです。

企業誘致立地企業の成長に向けて、企業・町・関係機関が連携したサポート体制が構築されるよう、当委員会としても活動を展開して行きます。

再生可能エネルギーに関する国の施策等の調査は、民間事業者向け、地方公共団体向けの補助事業について、それぞれ担当省庁となる資源エネルギー庁、環境省の担当の方より、制度の概要等の説明を受けたものです。

企業対策特別委員会委員長
会田 明生

議会活動日誌

5月

- 9日 小野町老人クラブ連合会通常総会
- 10日 月例全員協議会
議会改革特別委員会
公共施設検討特別委員会
議会広報編集委員会
- 14日 飯豊小学校運動会
夏井第一小学校運動会
- 15日 ふるさと小野町会総会(埼玉県)
- 16日 田村広域行政組合議会
- 18日 第57回小野町商工会通常総代会
- 20日 町村議会広報研修会(郡山市)
- 21日 田村医師会総会祝賀会(田村市)
浮金小学校運動会
小野新町小学校運動会
- 22日 高柴山山開き
- 25日 例月出納検査
- 26日 第43回小野町更正保護女性会定期総会
- 28日 おのまち元気発信パレード
- 29日 矢大臣山山開き
航空自衛隊大滝根山分屯基地創設60周年記念行事(川内村)
- 30日~31日
全国町村議会議長・副議長研修(東京都)
- 31日 田村地方植樹祭(田村市)



▲5月28日 おのまち元気発信パレードに参加

6月

- 1日 田村地方市町議会議長会会議(三春町)
- 3日 議会運営委員会
全員協議会
企業対策特別委員会
- 4日 田村地区交通安全協会小野支部定期総会
- 6日 福島県町村議会議長会定期総会(福島市)
都市計画審議会
- 8日~13日
小野町議会定例会6月会議
- 16日~17日
国会議員等への要望活動・議会全体研修(東京都・茨城県)
- 19日 福島県消防協会第12回田村支部幹部大会
- 21日 小野町水防協議会
- 24日 例月出納検査

7月

- 7日 公共施設検討特別委員会
総務文教常任委員会
厚生産業常任委員会
議会広報編集委員会
月例全員協議会
- 12日 小野町行政区長会との意見交換会
- 13日 公立小野町地方総合病院企業団議会
小野町交通対策協議会
- 14日~15日
企業対策特別委員会行政調査(東京都)
郡山地方広域消防組合議会臨時会
- 20日 田村地方市町議会議員研修会(三春町)
- 22日 第6回福島県消防協会田村支部消防操法大会(田村市)
- 24日 秋田県にかほ市議会 議会運営委員会視察研修受け入れ
- 25日~26日
決算審査(現地調査)
- 27日 小野町議会7月第1回会議
小野町戦没者追悼式
- 28日 例月出納検査
川内村議会との交流会(川内村)



▲7月22日 田村地方市町議会議員研修会

議会活動トピックス

町村議会広報研修会に参加(5月20日)

議会広報編集委員会は、郡山市で開催された福島県町村議会議長会主催の町村議会広報研修会に参加し、「住民に読まれる 議会活動が伝わる 議会報の基本と編集技術」について講義を受けました。

この研修の成果を生かし、読みやすい、親しまれる議会だよりの編集に取り組んでいきます。



講義を受ける議会広報編集委員会委員

小野町行政区長会との意見交換会を開催(7月12日)

小野町議会では各種団体の皆さんから様々な意見をお聞きし、意見交換を行い、より地域課題などに即した議会活動とするため、意見交換会を計画的に開催しています。

このたびは、小野町行政区長会と「子育て・教育」をテーマに意見交換を行いました。

各行政区長からは様々な視点からのご意見等をお伺いすることができました。皆さんからいただいたご意見等は、今後の議会活動や町政への提言などに活かしていきます。



グループに分かれて活発な意見を交わす

秋田県にかほ市議会の視察を受け入れ(7月25日)

秋田県にかほ市議会の菊地議長をはじめ議会運営委員会委員などの皆様が視察のため訪れました。視察の目的は、当議会が平成26年1月に導入した「通年議会」の運営状況等を調査するためでした。

当議会では、村上議長のほか吉田副議長、議会運営委員会委員(6名)の8名で対応させていただきました。



にかほ市議会議員のみなさん

【秋田県にかほ市】

「にかほ市」は平成17年10月1日に「仁賀保町」、「金浦町」、「象潟町」の三町が合併し誕生しました。秋田県南西部に位置し、南に鳥海山、西に日本海を臨む、山と海に抱かれた風光明媚なまちです。「人口25,690人(平成28年7月31日現在)」